

計測制御分野で最新のシステムを提供する

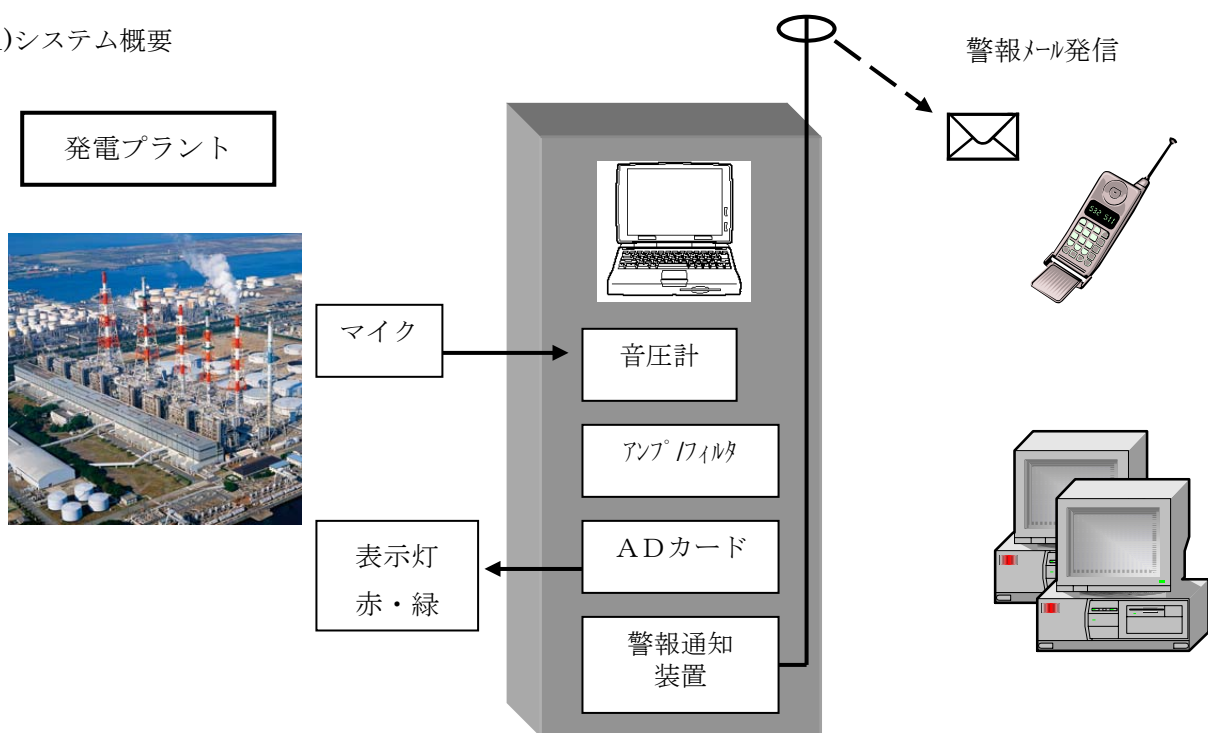
ハビリス納入事例紹介

プラント騒音常時監視システム

当事例は発電プラント内の機器から発生する騒音の監視用機器として作成したものであり、リアルタイムに計測した騒音データをFFT解析し、POA（等価騒音レベル：一定時間内の平均的な騒音レベル）で評価し、あらかじめ指定した警報判定条件を越えるとEメールによる警報を自動送信するシステムです。

騒音に係わる環境基準は従来、騒音レベルの中央値で評価されていましたが、1998年の「環境省告示64号」により等価騒音レベルで評価することになりました。

(1)システム概要



- ①測定機器 音圧計、マイクアンプ、フィルタ、ADカード
- ②警報通知装置 Eメール遠隔監視・制御装置DMA-4P (株)ハネロン製
MobileArk NTTDOCOMO

「システムの概要」

- (1) 騒音に関する規制は1968年に騒音規制法が制定され、さらに2005年に「工場及び事業場における事業活動並びに建設工事、自動車騒音規制」により規制が強化されております。又、従来は、騒音レベルの中央値で評価されていましたが、等価騒音レベル（一定時間内の平均的な騒音レベル）で評価することが義務付けられました。
- (2) 当システムは騒音データをFFT解析すると共に、POA（等価騒音レベル）で評価し、あらかじめ指定した警報判定条件を越えるとEメールによる警報を自動送信するシステムです。
- (3) 主な機能について
 - ①監視条件の指定
 - ・FFT解析条件：解析周波数、FFT分解能、ウィンドウ種類、オーバーラップ量
 - ・POA判定条件：演算周波数範囲、平均化回数、計測データ数、計測間隔
 - ・判定基準
 - ②監視画面 音圧レベル（MAX、MIN、AVE）
 - ・音圧レベル履歴、FFTグラフ
 - ③警報Eメール発信処理



監視画面

FFT画面

監視条件画面

お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285